



2026年3月期 1Q 連結

アナリスト向け決算説明会

2025年8月6日



1 決算のポイント



■ 組織および体制関連

□ 4月1日付組織再編

- ・ 「自動車・輸送機器」分野における開発力・提案力の強化を目的として、「インダストリアルビジネス本部」を再編し、「モビリティDXビジネス本部」を新設。
- ・ 営業力の強化を目的として、「マーケットディベロップメント本部」を新設。
- ・ 当社事業の全方位的な推進力を強化するため、「執行役員を充実化し体制整備」。

□ 4月1日付で、当社の連結子会社である(株)クレスコ・ジェイキューブが、統合によるシナジー効果の最大化とビジネスの拡大を目的として、同社の子会社である(株)高木システムを吸収合併。

■ 事業関連

□ 当社の連結子会社である(株)アイオスが、三菱UFJ信託銀行(株)との間で、システム開発とそれに付帯関連する業務におけるIT技術者の長期的、安定的な確保を目的として、2025年5月1日より10年間のパートナーシップ基本合意書を締結。

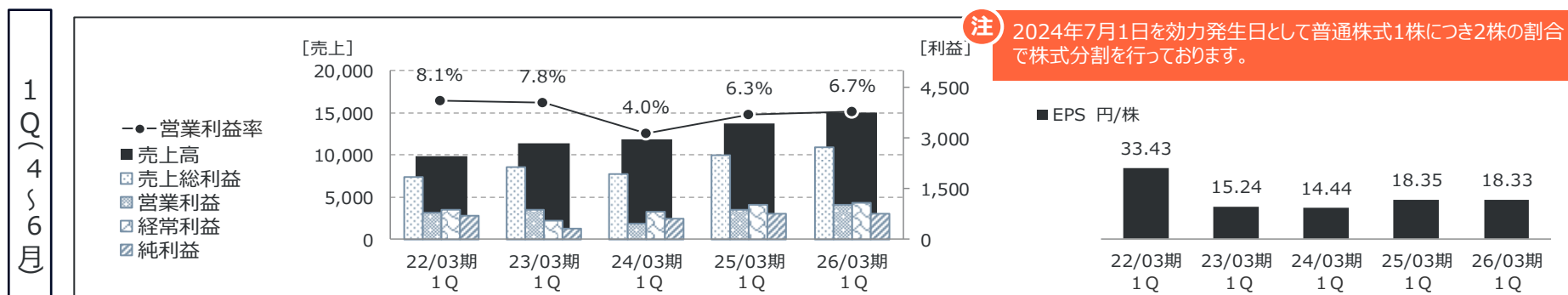
1 決算のポイント 1.2. 売上高・利益

【注】（ ）内の数字は各々の利益率を表します。
【注】「純利益」は「親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益」です。

[単位：百万円未満切捨]

- 米国による保護主義的な通商政策発表をきっかけに、国内企業の業績の先行き不透明感が強まり、一部の業種ではIT投資抑制の動きもみられる。但し、デジタルソリューション関連分野への引き合いが増加、新規連結効果もあり、9.6%の増収。
- 前年にM&A費用計上あり営業利益が16.6%増益も、金融収益減少で経常利益は6.6%増益にとどまる。
- 防衛特別法人税導入に伴う税率引き上げを主因に、当期純利益は0.2%の減益。

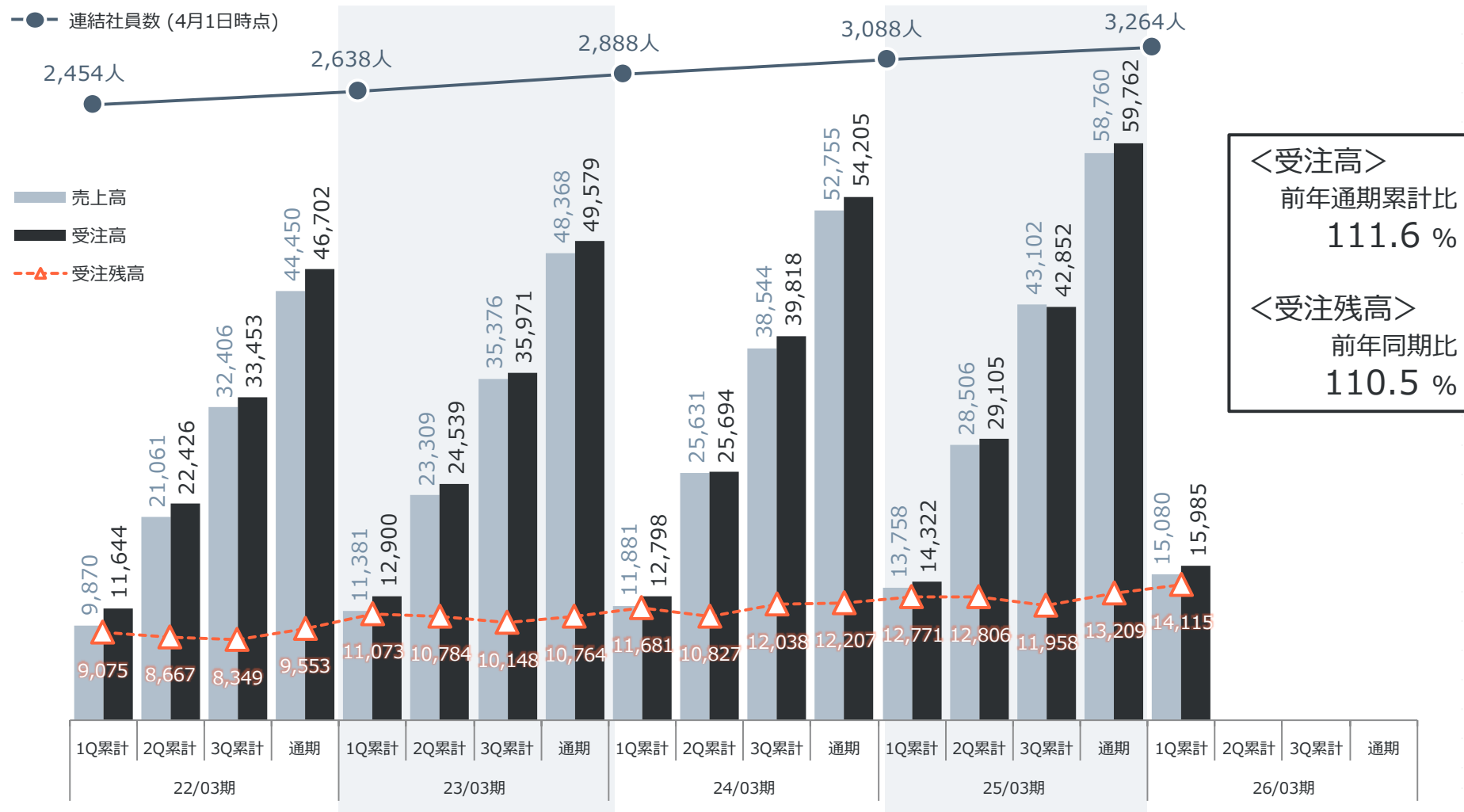
1 Q 累 計		24/03期	25/03期	26/03期	前年 同期比	対 2 Q累計 進捗率	2Q累計 業績予想	
							25/5/9 予想	前年 同期比
	売上高	11,881	13,758	15,080	109.6%	48.5%	31,100	109.1%
	売上総利益	1,926 (16.2%)	2,497 (18.2%)	2,744 (18.2%)	109.9%			
	営業利益	470 (4.0%)	870 (6.3%)	1,014 (6.7%)	116.6%	35.4%	2,870 (9.2%)	110.0%
	経常利益	830 (7.0%)	1,027 (7.5%)	1,095 (7.3%)	106.6%	37.9%	2,890 (9.3%)	104.6%
	純利益	606 (5.1%)	756 (5.5%)	754 (5.0%)	99.8%	38.7%	1,950 (6.3%)	103.8%
	EPS 円/株	14.44	18.35	18.33			47.58	





[単位：百万円未満切捨]

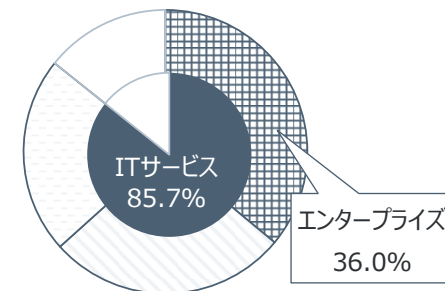
- 受注高と受注残高は、ともに前年同期比10%超の増加。
- 米国の保護主義的な通商政策への警戒感はあるものの、企業のDX推進ニーズは依然堅調。



1 決算のポイント ✨ 1.4. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：エンタープライズ]

セグメント	サブセグメント
ITサービス	・コンサルティング ・IT企画 ・開発・保守の総合サービス エンタープライズ 情報・通信、広告、流通サービス、運輸、 人材紹介・人材派遣、公共、資源・エネルギー、 建設・不動産、旅行・ホテル、医療・ヘルスケア、その他

<セグメント別の売上高比率:1Q(4～6月)>



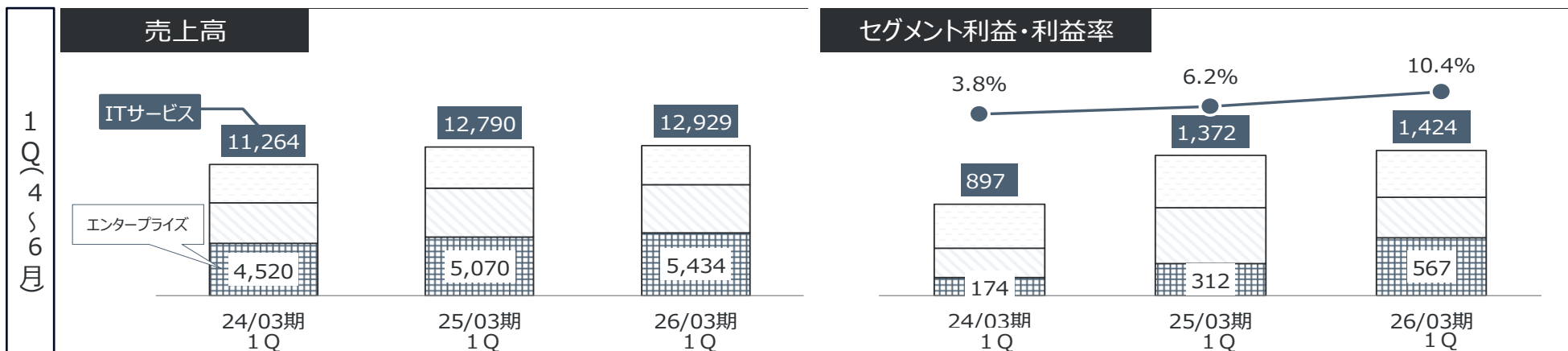
■ 売上高：54億34百万円（前年同期比 7.2%↑）

- ・「情報・通信・広告」の分野においてアプリケーション開発支援業務が増加。

■ セグメント利益／利益率：5億67百万円／10.4%（前年同期比 82.0%↑）

- ・ 売上高の増加と同様の理由に加え、前年度に発生していた不採算プロジェクトが収束したため。

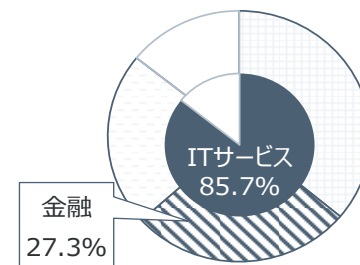
[単位：百万円未満切捨]



1 決算のポイント ✖ 1.5. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：金融]

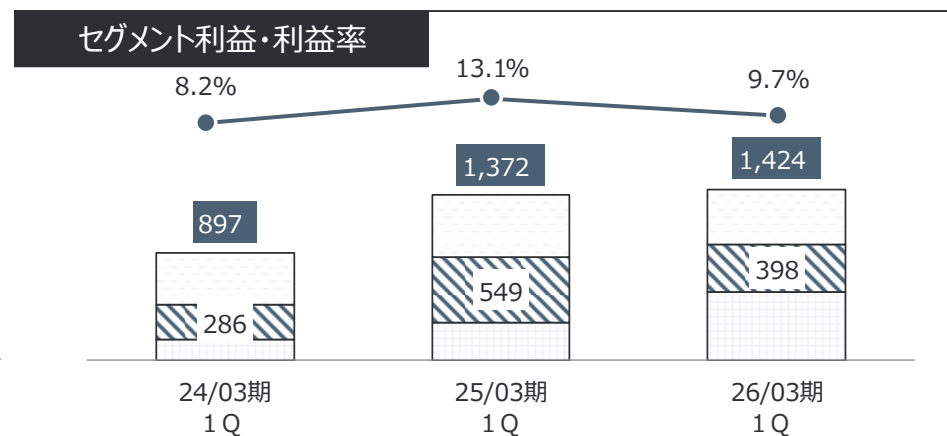
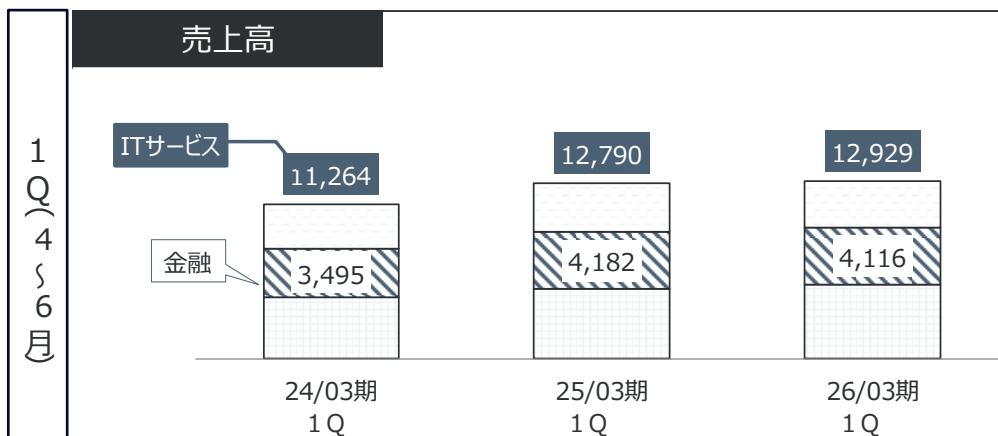
セグメント		サブセグメント	
IT サービス	・コンサルティング	金融	銀行、保険、その他
	・IT企画 ・開発・保守の総合サービス		

＜セグメント別の売上高比率：1Q(4～6月)＞



- **売上高：41億16百万円**（前年同期比 1.6%↓）
 - ・「銀行」「保険」分野で案件がスリップ/延期したため。
- **セグメント利益／利益率：3億98百万円／9.7%**（前年同期比 27.5%↓）
 - ・ 売上高の減少と同様の理由。

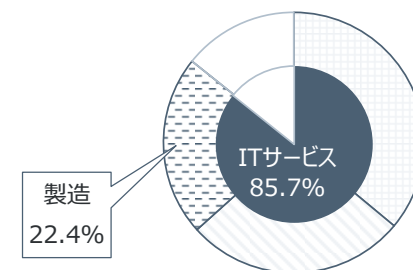
[単位：百万円未満切捨]



1 決算のポイント ✖ 1.6. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：製造]

セグメント		サブセグメント	
IT サービス	・コンサルティング ・IT企画 ・開発・保守の総合サービス	製造	自動車、輸送機器、機械、エレクトロニクス、その他

<セグメント別の売上高比率:1Q(4～6月)>



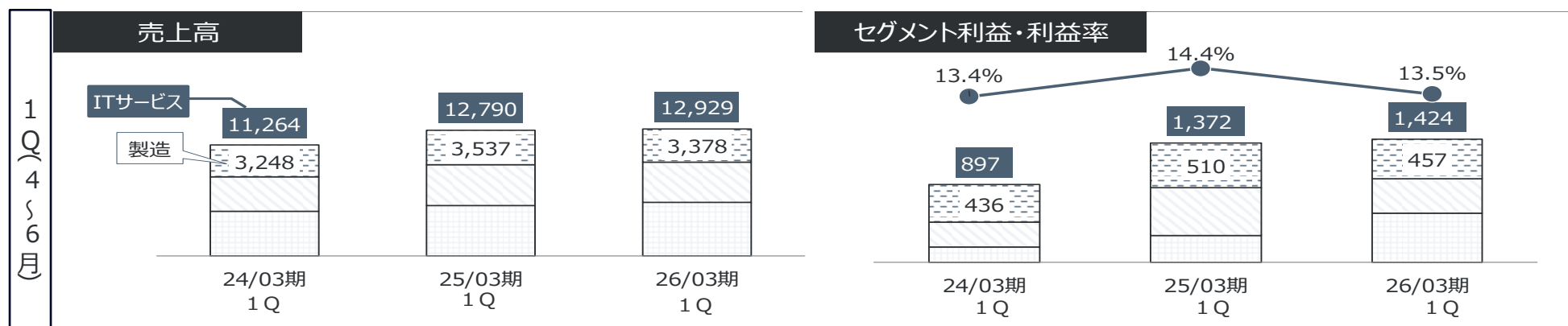
■ **売上高：33億78百万円（前年同期比 4.5%↓）**

- ・「自動車・輸送機器」分野の車載開発は堅調だが、EV市場の成長鈍化による一部案件の先送り、および「機械・エレクトロニクス」分野においてメーカーの製品開発プロジェクト中止/延期の影響を受けたため。

■ **セグメント利益／利益率：4億57百万円／13.5%（前年同期比 10.4%↓）**

- ・ 売上高の減少と同様の理由によるもの。

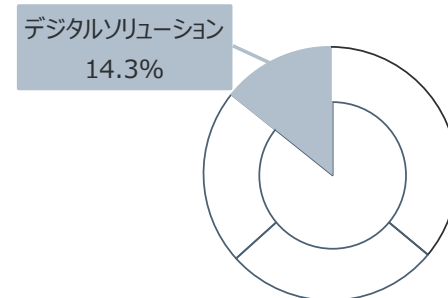
[単位：百万円未満切捨]



1 決算のポイント ✖ 1.7. セグメント別売上高・利益 [デジタルソリューション事業]

セグメント	事業
デジタルソリューション	顧客のDX実現を支援する製品・サービスからなるソリューション群 <主な製品・サービス名> Creage : クラウド関連サービス UiPath : RPA関連サービス ERP導入関連サービス 教育・セミナー : AI、クラウド、RPAなど

<セグメント別の売上高比率:1Q(4~6月)>



■ 売上高 : 21億51百万円 (前年同期比 122.2%↑)

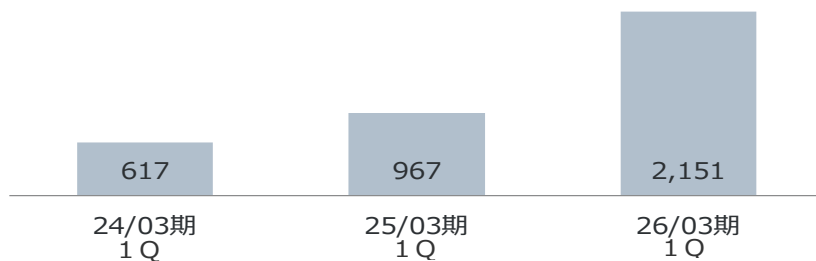
- 基幹システム導入を主力事業とする(株)高木システムの新規連結、および製品・ライセンスの販売および導入支援が大幅に増加したため。

■ セグメント利益／利益率 : 1億61百万円／7.5% (前年同期比 1,697.0%↑)

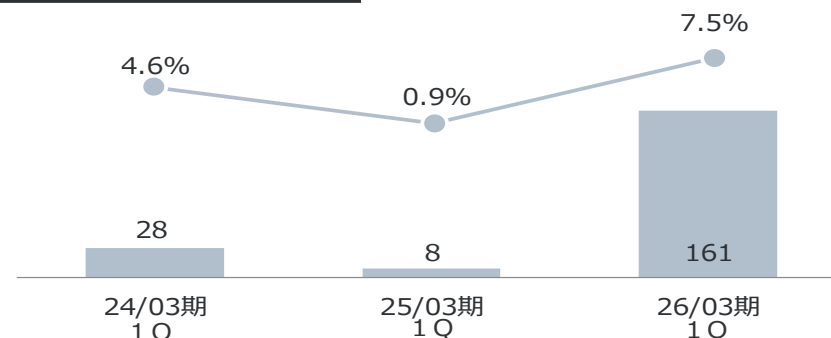
- 売上高の増加と同様の理由によるもの。

[単位 : 百万円未満切捨]

売上高



セグメント利益・利益率



1
Q
累
計

1
Q
4
~
6
月



2 2026年3月期の見通し



- 2025年5月9日公表の2026年3月期連結業績予想（2Q累計および通期）に変更なし。
- 今後の状況や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示。

[単位：百万円未満切捨]

2 Q 累 計	25/03期						26/03期	
	24/5/10 予想	前年 同期比	実績		前年 同期比	達成率	25/5/9 予想	前年 同期比
	売上高	27,800	108.5%	28,506	111.2%	102.5%	31,100	109.1%
	売上総利益			5,544 (19.5%)	118.5%			
	営業利益	2,440 (8.8%)	123.3%	2,608 (9.2%)	131.9%	106.9%	2,870 (9.2%)	110.0%
	経常利益	2,475 (8.9%)	101.4%	2,763 (9.7%)	113.3%	111.7%	2,890 (9.3%)	104.6%
	純利益	1,610 (5.8%)	96.7%	1,879 (6.6%)	112.8%	116.7%	1,950 (6.3%)	103.8%
	EPS 円/株	39.08		45.60			47.58	

通 期	25/03期						26/03期	
	24/5/10 予想	前年 同期比	実績		前年 同期比	達成率	25/5/9 予想	前年 同期比
	売上高	58,500	110.9%	58,760	111.4%	100.4%	64,000	108.9%
	売上総利益			11,779 (20.0%)	114.0%			
	営業利益	5,900 (10.1%)	115.2%	5,983 (10.2%)	116.8%	101.4%	7,000 (10.9%)	117.0%
	経常利益	6,000 (10.3%)	106.0%	6,290 (10.7%)	111.2%	104.8%	7,140 (11.2%)	113.5%
	純利益	4,000 (6.8%)	107.3%	4,405 (7.5%)	118.2%	110.1%	4,900 (7.7%)	111.2%
	EPS 円/株	96.99		106.89			119.55	

【注】（ ）内の数字は各々の利益率を表します。「純利益」は「親会社に帰属する当期純利益」です。



- 株主還元方針に則った配当を継続。
- 2025年5月9日公表の、2026年3月期の配当目標「**58円**」に変更なし。

	23/03期	24/03期	25/03期	26/03期	
	実績	実績	実績	25/5/9 予想	増減
中間	23円	25円	19円	29円	10円
期末	27円	27円	23円	29円	6円
年間	50円	52円	42円	58円	16円
配当性向	31.6%	28.9%	39.3%	48.8%	9.5%
配当利回り	2.9%	2.4%	3.5%		
DOE	4.5%	4.2%	5.9%		
配当金の総額	1053百万円	1070百万円	1731百万円		

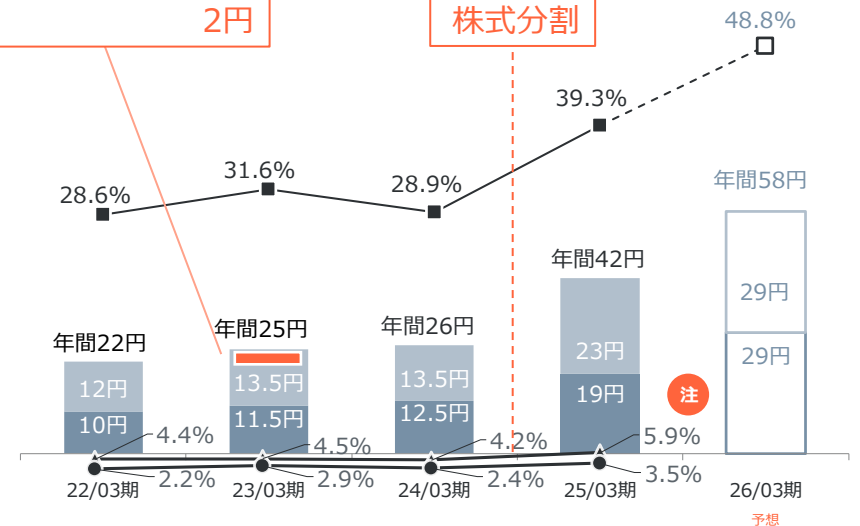
[配当金の総額：百万円未満切捨]

株主還元方針

- 当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置づけ、株主資本の充実と長期的な安定収益力を維持するとともに、業績に裏付けられた適正な利益配分を維持することを基本方針としております。
- 特段の株主優待は行っておりません。
- 配当に関しましては、
(24/03期まで) 原則、連結経常利益をもとに、特別損益を零とした場合に算出される親会社株主に帰属する当期純利益の30%相当を目途に継続的に実現することを目指してまいります。
(25/03期) 原則、親会社株主に帰属する当期純利益の40%を目途に継続的に実現することを目指してまいります。
(26/03期より) 原則、親会社株主に帰属する当期純利益の50%を目途に継続的に実現することを目指してまいります。

創立35周年記念配当
2円

株式分割



※上のグラフでは24/03期以前も24年7月1日付株式分割後ベースに換算した配当実績を記載。

注 2025年5月9日、以下の株主還元策の実施を公表いたしました。

- ・ 2026/3期中間期より、新たな配当方針（配当性向40%から50%に引き上げ）に基づき配当額を決定してまいります。
- ・ 2025年5月12日から11月28日まで、「合計1,000,000株または15億円」を上限に、自社株買いを実施中です。



ご参考

ご参考 1) 連結子会社の変遷

	2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期				2026年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
クレスコ・イー・ソリューション	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
クレスコワイヤレス 【※7】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	/	/	/	/			
アイオス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
クレスコ北陸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
シーサリー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
クレスコ・デジタルテクノロジーズ 【※2】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
メクゼス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
エヌシステム 【※3】	●	●	●	●	●	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/			
ネクサス 【※3】	●	●	●	●	●	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/			
アルス 【※3】	●	●	●	●	●	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/			
クレスコ・ジェイキューブ 【※3】	/	/	/	/	/	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
クレスコベトナム	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
エニシアス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
クレスコ・ネクシオ 【※1】【※5】	/	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
日本ソフトウェアデザイン 【※4】【※8】	/	/	/	/	/	/	/	●	●	●	●	●	●	/	/	/	/			
ジェット・テクノロジーズ 【※6】	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	●	●	●	●	●			
子会社総数	12	13	13	13	13	11	11	12	12	12	12	12	13	11	11	11	11			

【※1】 2021年7月1日付けで「(株)OEC」を子会社化

【※2】 2022年5月1日付けで「クリエイティブジャパン」は「クレスコ・デジタルテクノロジーズ」に商号変更

【※3】 2022年7月1日付けで「アルス」は「エヌシステム」「ネクサス」を統合

【※4】 2023年2月1日付けで「日本ソフトウェアデザイン(株)」を子会社化

【※5】 2023年10月1日付けで「OEC」は「クレスコ・ネクシオ」に商号変更

【※6】 2024年4月1日付けで「ジェット・テクノロジーズ(株)」を子会社化

【※7】 2024年6月14日付けで「クレスコワイヤレス」の株式譲渡

【※8】 2024年7月1日付けで「メクゼス」が「日本ソフトウェアデザイン」を統合

- 車載システム開発における社内仮想プロジェクトの上流工程において、**生成AIを活用した設計を試行**

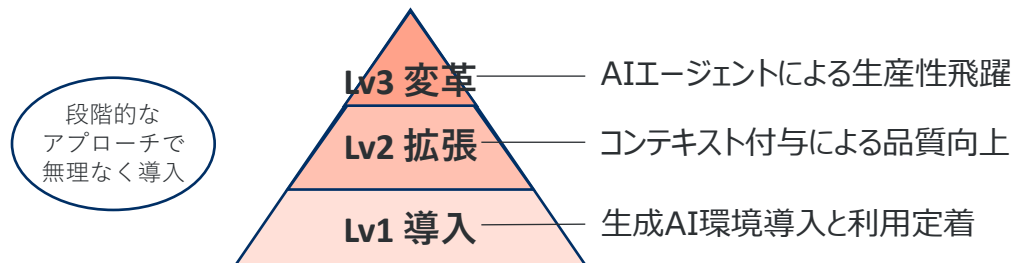


※参考：Automotive SPICE プロセス参照モデル

生成AI適用領域	実施内容と成果
SYS.1 要件抽出 SYS.2 システム要求分析	既存製品マニュアルから、機能一覧/非機能要件一覧を生成 → 類似する機種の開発において、要件のベースを自動生成することが可能となった。
SYS.3 システムアーキテクチャ設計	既存製品マニュアルから、部品構造を生成 → 設計の叩き台を自動生成することが可能となった。実用化を目指し、精度向上の検証を実施している。
SYS.4 システム統合および結合テスト	既存製品マニュアルから、テストケースを生成 → 外部機能のテストケースを自動生成することで、テスト設計の負担軽減が見込まれる。

車載システム開発における生成AI適用範囲と実施内容

AI駆動開発プラットフォーム導入支援サービス



①導入コンサルティング

目標明確化と最適な導入計画の策定サポート

②環境構築 (AWS)

AIチャットボット・AIコードアシスト 構築

③利用定着支援

教育・伴走支援による円滑な活用と効果測定

④ツール開発 (オプション)

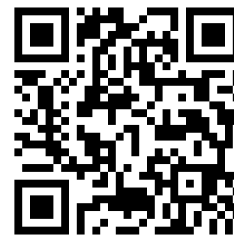
ニーズに合わせた生成AI活用ツールの開発

- 顧客企業のAI浸透状況に応じた最適な支援を提供し、顧客企業の生成AI環境構築・開発業務の効率化を進める、「**AI駆動開発プラットフォーム導入支援サービス**」を提供中

ご参考 3) 経営ビジョンと中期経営計画の詳細URL



【注】コーポレートロゴ変更に伴い、イメージ画像を変更しました。内容に変更はありません。



「経営ビジョン」の詳細

<https://www.cresco.co.jp/ja/corpinfo/vision.html>



「中期経営計画2026」の詳細

<https://www.cresco.co.jp/ja/ir/operation/plan.html>

中期経営計画

(2024年度～2026年度)

2024年5月10日

CRESCO 
株式会社クレスコ



免責事項

- ❖ 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありません。
- ❖ また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。
投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。
- ❖ なお、本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予想数値や将来展望は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。
- ❖ 今後、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業況や業績結果と大きく乖離するなど、本資料の内容と異なる可能性もございます。
予めご了承ください。

【 IRのお問合せ】

IR・ブランディング室 Mail : ir@cresco.co.jp

TEL : 03-5769-8058